



平成26年4月15日

報道関係各位

松本大学観光ホスピタリティ学科 上土商店街まちづくり事業について取材のお願い

陽春の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、本学観光ホスピタリティ学科白戸ゼミナールでは、これまで上土商店街とともにまちづくりに取り組んでまいりました。昨年からは、コミュニティカフェを中心として、より具体的な取り組みを展開しております。本年度は、ゼミとして関わりを持ち始めてから10周年に当たり、次の10年を目指して本格的な事業展開を考えております。

具体的には、ここ数年進めてきた上土ブランドの商品開発や買い物支援を含めた商店街のバリアフリー化、映画の街としての歴史を活かしたまちづくりなど、より具体的で未来志向の取り組みを進めていきたいと思っております。さらに昨年度、商店街振興組合によって実施したまちづくり事業「ずくだせ塾」や大学のCOC（知の拠点）事業である「大正ロマンの学習会」において提案された「上土下町サポートセンター（仮称）」の設立に向けての動きを本格化したいと思っております。

そこで4月15日（火）15時30分より上土ふれあいホールにおいて、今年度の事業計画を学生と商店街関係者によって協議を行なうことになりました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、報道関係各社様を通して、地域の皆様に広くご紹介いただきたく、取材方よろしくお願いたします。

敬具

記

日 時：平成26年4月15日（火）15：30～

場 所：上土ふれあいホール

内 容：本年度の事業計画の策定 等

参加者：白戸ゼミ4年生8名 上土商店街振興組合・上土町会関係者等

以上